

日本小児循環器学会 2017年度第1回理事会議事録簡易版

日時：平成29年9月18日（月祝）13:00～16:20

場所：DAYS 赤坂見附 3A 会議室

議 事

I. 開会

- ・理事総数20名のうち19名の出席があり、定足数を満たすことから理事会が成立し、開会となった。
- ・議長：坂本喜三郎理事長、議事録署名人：赤木禎治理事、市川肇理事

II. 報告事項

<理事長報告>：坂本喜三郎理事長

1. 日本医学会評議員・連絡委員・用語委員・用語代委員選出について

日本医学会より評議員・連絡委員・用語委員・用語代委員選出依頼があり、評議員に坂本喜三郎、連絡委員に富田英理事、用語委員に岩本眞理理事、用語代委員に犬塚亮先生を選出した旨、報告がされた。

2. 第83回日本循環器学会会長特別企画演者推薦について

日本循環器学会より来年3月に開催される第83回日本循環器学会学術集会の会長特別企画セッション「新たな循環器専門医制度構築に向けての最近の動向」への演者推薦依頼があり、本学会専門医制度委員会委員長として土井庄三郎理事を推薦した旨、報告がされた。

<持ち回り理事会報告>

1. 委員会規約等の新規追加・改定について（持ち回り理事会第1号議案 9/15承認）

理事長提案として委員会規約（旧：委員会内規）の改定、専門医制度規約の改定、地方会認定審査手順（旧：地方会認定審査施行細則）の改定について持ち回り理事会へ提案し、全会一致で承認された旨、報告がされた。

<学術集会報告>

第53回学術集会会長の坂本理事長より会の協力への謝辞が述べられた。会計報告については次の理事会にて報告する旨、説明がされた。

<各委員会報告>

1. 学術委員会：小山耕太郎理事

1-1 学術・国際交流委員会

1-1-1 AEPCとの契約書更新について

- ・7月の学術集会時に開催されたビジネスミーティングにて、若手医師短期交換留学事業の派遣期間を10/1から翌年9/30までの期間に変更し、宿泊費用は留学生負担であることがより明確になるよう修正した旨、報告がされた。

1-1-2 AEPCとの交流事業について（WCPCS2017）

- ・WCPCS2017においてAEPCとのジョイントセッションを開催し、会場代・ケータリング費用として最終的に約65万円を支払った旨、報告がされた。

1-1-3 AEPC-JSPCCS ビジネスミーティングについて

- ・7月の学術集会時にビジネスミーティングを開催し、YIAの選出についての確認とHBDプログラム（CVDYと連携）について協議された旨、報告がされた。

1-1-4 AHA-JSPCCS ビジネスミーティングについて

- ・7月の学術集会時にビジネスミーティングを開催し、今後の若手医師短期交換留学事業やAHAにおけるジョイントセッションについて協議された旨、報告がされた。

1-1-5 第1回Fostering Leadership Program 推薦について

- ・日本小児科学会から推薦依頼があり、公募を経て篠原務先生（名古屋市大）を推薦した旨、報告がされた。

1-1-6 海外留学推薦者レポート掲載について

- ・学術委員会推薦で留学された先生方よりレポートの提出があり、HPへ掲載した旨、報告がされた。

1-2 教育委員会

- ・来年度の学術集会時の教育セミナーについて鎌田委員長より講師案の提示がされ、学術委員会にて承認された旨、報告がされた。

2. 専門医制度委員会：土井庄三郎理事

- ・第8期専門医試験の受験書類を最終確認中、今年度の専門医更新は42名見込みで10/22申請締め切りとして受付する旨、報告がされた。

- ・小児科学会の専門医研修単位申請について、分科会・地方会・評議員会に周知した旨、報告がされた。
- ・基盤領域の新専門医制度が4月からスタートするため、本学会としては再来年からスタートするつもりで、カリキュラム制とプログラム制についてどちらを採用するか検討していく旨、報告がされた。

### 3. 保険診療・臨床試験委員会：三浦大理事

- ・バイエル薬品から契約書案と治験に関するアンケート調査案が提示され、全修練施設に対しWEBアンケートを実施する予定である旨、報告がされた。

### <財務報告>

財務担当の山岸敬幸理事より、2016年度決算資料の誤植について報告がされた。支出の項目の2か所にミスプリントがあった。決算書全体の支出合計、収支差額および財産目録合計額の数字には間違いはなかったことが説明された。決算資料修正版を作成し、「お詫びと訂正」をもって会員に周知する。

## III. 審議事項

### 第1号議案：コンベンション会社の公募について

総務担当の富田英理事よりコングレ社とコンベンションリンクエージ社の比較資料が提示され、公募に関する今後の方向性について審議提案され57回、58回についての値下げをリンクエージ社に確認した上で、2021年以降の委託業者について検討することについて、全会一致で承認された。

### 第2号議案：分科会認定審査施行細則の改定について

学術委員会委員長の小山耕太郎理事より、分科会認定審査施行細則第4条2項の申請書類の提出期限について12/23消印有効に変更することが提案され、全会一致で承認された。

### 第3号議案：分科会申請について

学術委員会委員長の小山耕太郎理事より、日本小児集中治療研究会からの分科会申請書類が提示されたが、会則に修正が必要であるため、再提出後最終的に承認することで全会一致の合意を得た。

### 第4号議案：役員のCOI確認方法について

利益相反委員会委員長の野村裕一理事より、役員のCOI確認方法について提案がされ、全会一致で承認された。COIの自己申告書は利益相反委員会委員長または副委員長と事務局2名以上にて確認し理事長・利益相反委員会へ報告すること、申告書は事務局にて厳重に保管することとなった。

### 第5号議案：海外旅費申請について

HBD担当の安河内聡理事より、HBDに関する会議出席のための渡航費として海外旅費申請がされ、10万円の補助が全会一致で承認された。また、補助については最大10万円ということを旅費規定に追加することとなった。

### 第6号議案：委員会委員選出について

坂本喜三郎理事長より各委員会委員長からの委員推薦案が提出され、審議された。機会・負担の均衡を鑑み委員会・部会を合わせて4つまでの職務とすること、「チーム日本・小児循環器学会」として地域のバランスを考慮し地方の若手会員を積極的に採用した委員会構成とすることについて合意され、理事長が再度調整を行い、10月初旬までに確定することとなった。

## IV. 閉会

- ・以上をもって議事が終了し、議長より閉会が宣言された。

以上